

「ドジョウのつぶやき@長泥」X(旧Twitter)開設のお知らせ



再生。島

<https://twitter.com/dojyosaisei>

ドジョウのつぶやき@長泥

検索



週2回程度投稿中！是非お気軽にフォローしてください！
長泥地区の現地の様子や実証事業に関する情報をお伝えしています！

環境省福島地方環境事務所では、福島県飯舘村長泥地区で除去土壌の再生利用に関する実証事業に取り組んでいます。再生利用についての理解を深めていただけるよう、SNS X(旧Twitter)による情報発信を8月から始めました。

再生利用実証事業の現地である「長泥の今」を伝え、「これから」を皆様と共に考えていけるよう、環境省の若手職員が現地の様子や最新情報を投稿していきます。

【お問合わせ】 環境省 福島地方環境事務所 中間貯蔵部 土壌再生利用企画課
☎ 024-563-7209 ✉ fukushima_dojyousaisei2@env.go.jp

環境省の情報発信拠点

見学会やイベント等の詳細につきましては、各施設にお問い合わせ下さい

● 中間貯蔵工事情報センター



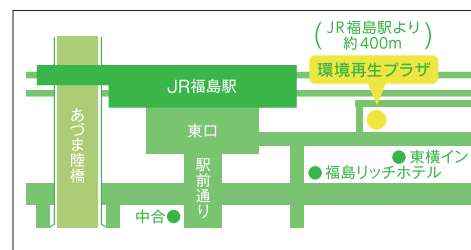
■所在地 福島県双葉郡大熊町
大字小入野字向畑 256
■開館時間 10:00～16:00
■休館日 日曜日・月曜日、年末年始
(月曜日が祝日の場合は翌平日)
■電話番号 0240-25-8377
中間貯蔵施設工事について紹介しています。
毎月、中間貯蔵施設見学会(事前申込制)を開催しています。

● 特定廃棄物埋立情報館 リプルンふくしま



■所在地 福島県双葉郡富岡町
大字上郡山字太田 526-7
■開館時間 9:00～17:00
■休館日 月曜日、年末年始
(月曜日が祝日の場合は翌平日)
■電話番号 0240-23-7781
特定廃棄物の埋立処分事業について紹介しています。毎週末には参加型イベントや実験教室なども開催しています。

● 環境再生プラザ



■所在地 福島県福島市米町
1-31 1階
■開館時間 10:00～17:00
■休館日 月曜日、年末年始
(月曜日が祝日の場合は翌平日)
■電話番号 024-529-5668
福島県環境再生への取り組みなどの情報を紹介しています。常駐している専門家による解説や相談などを行っています。

ふくしま環境再生 Vol.29



高校生による見学会(8月)

「ふくしま環境再生」では、環境省が進める環境再生事業や地域活性化事業などの情報を定期的にお知らせします。



環境省 福島地方環境事務所

環境省では飯舘村長泥地区において、村内の除染で発生した土壌のうち、放射能濃度の低いものを再生資材化して盛土に活用し、農地を造成する事業を進めています。この取り組みを広く知っていただくため、定期的に一般見学会を開催しています。皆さまの見学会へのご参加をお待ちしています。

環境再生事業現地周辺の様子（令和5年度）

今年5月に長泥地区の特定復興再生拠点区域等の避難指示が解除されました。見学会では、事業概要の説明のほか再生資材を使用した農地盛土造成エリア内にある水田や畑、花卉栽培用ビニールハウスなどの見学、放射線の測定体験などを行っています。

- ・水田に求められる機能を確認する試験を、これまでより広い実用規模の水田で行っています。
- ・一昨年より試験を行っている水田では、畑への転換を想定して大豆やトウモロコシを栽培しています。
- ・景観に配慮した緑肥作物を季節に応じて栽培しています。
- ・ビニールハウスでは、地元の方にご協力いただき、トルコギキョウなどの花卉を栽培しています。
- ・見学会では、放射線の測定体験をすることができます。
- ・住民交流の拠点として長泥コミュニティセンターが整備されました。その下にある見晴台からは農地盛土造成エリアが一望できます。



実用規模の水田試験エリア（8月）



一昨年からの水田試験エリア（8月）



大豆・トウモロコシ畑（7月）



苗の植え付け（5月）



刈取り前（9月）



赤そばの花〈緑肥作物〉（9月）



トルコギキョウ〈ビニールハウス〉（7月）



放射線測定体験（9月）



長泥コミュニティセンター下の見晴台

長泥地区で行われている環境再生事業について、さらに詳しくお知りになりたい方は、中間貯蔵施設情報サイトをご覧ください。

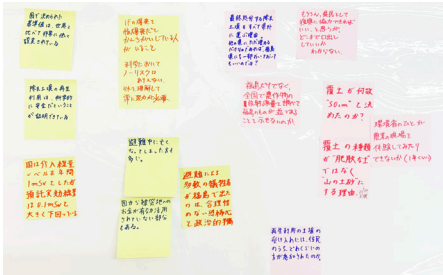
飯舘村長泥地区における再生利用実証事業

検索

pickup 環境再生事業を通じた理解醸成の取り組み

令和3年度から開催している一般見学会の参加者は累計397名になりました（令和5年度は95名 9月末時点）。令和5年度は地元住民の方との対話や放射線についての講義・測定体験等を行っています。

一般見学会に加えて、高校生や大学生、行政職員などグループでの参加者は、今年度だけで813名（9月末時点）になります。このうち8月に開催された福島県立安積高等学校、福島県立福島高等学校（福島県）と東京都立戸山高等学校（東京都）の3校合同で行われたワークショップツアーでは、福島第一原発や中間貯蔵施設、それに長泥再生事業の見学を通して学んだ点について、意見交換などを行いました。



感想

去年から参加して、現場の変化が見られたところがよかった。
ワークショップや多面的な意見を聞ける機会を増やしてほしい。
再生利用と廃炉。いかに長泥で扱っている土が安全であるか、対比的にわかりやすく捉えることができた。

pickup 水生生物の調査

田んぼでは水生生物の調査を継続して行っています。今年度は、試験をはじめて3年目の田んぼと、今年から苗を植えた田んぼの両方で調査しました。

その結果、環境再生事業で造成した畑や水田には、カエルやトンボなど里山におなじみの生物が生息していました。



アキアカネ



イトトンボの仲間



マツモムシ



ミズカマキリ



アマガエル



コモリグモの仲間

環境再生プラザの環境再生レポートVol.47、Vol.48で詳しく紹介しています。

環境再生レポート

検索



お申込み方法

一般の方を対象にした見学会は日程が決まっており、事前申し込みが必要です。詳細は、専用ホームページをご覧ください、メールまたは電話でお申し込みください。

連絡先・お問合せ

✉: johocenter@jesconet.co.jp ☎: 0240-25-8377
中間貯蔵工事情報センター〈長泥地区環境再生事業見学会担当〉
設置: 環境省 運営: 中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO)

飯舘村長泥地区環境再生事業見学会

検索

専用ホームページは
こちらから

